2020 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松幼稚園

採択活動名

知床学（海洋教育）地域の自然とのつながりを深める

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

体験名	学年	教科
前浜遊び		知床学
前浜ごみ拾い		知床学
ごみをすてないでポスター		知床学
羅臼昆布ってすごいね		知床学

取り組みの概要

本園は、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含めた豊かな自然に囲まれた環境の下で教育活動を展開している。身近な環境に親しみながら地域の自然とのつながりを深めることができる幼児の育成を目指し、取組の充実を図っている。

幼児は幼稚園前の前浜で、「前浜遊び」を行った。遊びを通して様々な生き物に触れたり、石や流木で遊んだりする中で、幼児からはごみがたくさん流れ着いていることや、昆布などの海藻がたくさんあることに気付き、「なぜ、こんなにたくさんごみがあるのだろう」、「きれいにしたいね」、「この昆布は食べられるのかな」、「自分の家にある昆布とはちょっと違う」などの声が聞かれた。

前浜遊びの体験から、「どうしたらごみを減らせるのか」という思いをもったことから、「前浜ごみ拾い」を行った。

さらに「ごみをすてないでポスター」を作成し、前浜に看板を設置したり、地域の施設等へ掲示してもらったりするとともに、「ごみをすてないで」というチラシを作成し地域に配布した。体験を通して、幼児からは「お父さんに、たばこを海に捨てたらだめだよって注意した」、「漁師さんに見えるように、看板は海に向けて立てよう」などの声が聞かれた。

【「『ごみをすてないで』チラシ」の配布】

「羅臼昆布ってすごいね」では、幼児は、昆布番屋に見学に行ったことを思い出しながら、実際に園庭で昆布を干したり、昆布漁を営んでいる保護者の協力を得ながら、昆布のひれ刈り体験を行ったりして、地域の特産物である昆布が製品になるまでの仕事を体験した。幼児からは「昆布番屋みたいにうまく干せないね、何か秘密があるのかな」、「昆布の根が薬に使われるなんて知らなかった」などの声が聞かれた。

【昆布番屋見学】

身近にある自然や羅臼町の特産物である昆布が製品になるまでの仕事の体験を通して、幼児は、自然との関わりを深めるとともに、羅臼町の人やもの等に親しみをもつ姿が見られた。